

連合長崎地協第27回定期総会

～次の飛躍へ 確かな一歩を～



酒井議長あいさつ



団結ガンバロウ

11月2日(木)、長崎県勤労福祉会館にて連合長崎地域協議会第27回定期総会を開催しました。

議長団(山崎代議員/基幹労連、荒巻代議員/電機連合)選出の後、主催者を代表して酒井議長はあいさつの中で、①政策制度要求の取り組み、②政治活動の取り組み、③総合生活改善の取り組み、の3点に触れ、「労働者を取り巻く環境は厳しいが、連合地協という組織力でこの難局を全員で乗り切ろう!」と訴えました。

総会には来賓として、政党、労働団体、労働福祉団体、各級議員など多数のご出席をいただき、代表して連合長崎 宮崎会長、長崎市商工部 片岡部長、民進党長崎1区総支部 高木支部長、社民党長崎総支部 池田代表より挨拶を賜りました。

議事では、報告事項として、①2017年度経過報告、②会計報告・会計監査報告、審議事項として、①2018年度活動方針、②予算、③役員交代など全議案について満場一致で決定確認しました。

最後に、酒井議長の「団結ガンバロウ」で総会を終了しました。

2018、2019年度役員体制

役職名	氏名	組織名	役職名	氏名	組織名
議長	酒井 隆	基幹労連	幹事	田平 光幸	自治労(市職)
副議長	本多 英樹 新	自治労(県職)	〃	寺田 末人	全自交労連
〃	堀江 信也 新	電力総連	〃	橋本 豊志	日教組
〃	三重 英	JP労組	〃	松浦 仁 新	JR連合
〃	溝上 剛治	長崎私交通	〃	澤井 知博 新	UAゼンセン
〃	田邊 孝広	西彼北部ブロック(電力総連)	〃	森崎 恵介	国公連合(全農林)
事務局長	宮本 晃好 新	連合長崎(電力総連)	〃	峰 孝樹 新	全国ガス
事務局長	橋田 和廣	交通労連	〃	中村 彰久	全造船機械
〃	馬淵 雄一	情報労連	〃	高比良 大	全労金
〃	佐々木信行	運輸労連	〃	木戸 則之	長崎電気軌道労組
〃	片岡 義人	自治労(都市交評)	会計監査	山下 耕司	自動車総連
幹事	澤村 広和 新	基幹労連	〃	川久保博之 新	電力総連
〃	川田 隆往	電機連合			

【退任役員】

副議長	内山 昌明 (自治労・県職)	幹事	植松 幸也 (UAゼンセン)
事務局長	芳川孝太郎 (連合長崎/電力総連)	〃	吉富 祥平 (全国ガス)
幹事	瀬崎 洋二 (基幹労連)	会計監査	別宮 潔 (電力総連)
〃	久木崎 功 (JR連合)		

おつかれさまでした!

「願う」平和から「叶える」平和へ つながろうNIPPON!

連合平和行動(広島・長崎・根室)

平和行動in長崎(8月8日～9日)

1. 連合2017平和ナガサキ集会

長崎県立総合体育館・メインアリーナにおいて、「連合2017平和ナガサキ集会」を連合主催、原水禁・KAKKIN共催、また後援として41団体(行政・大学・平和団体等)の賛同のもと開催し、全国より約3,000名が集いました。

連合長崎 森光一会長から核兵器廃絶の想いを込めた開会あいさつの後、連合 逢見直人事務局長は主催者代表あいさつとして、今年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」に触れ、「唯一の被爆国である日本政府には、核兵器保有国と非保有国との橋渡し役としての責任を果たすべく、勇気をもって条約の批准を進めるとともに、速やかな発効に向け、各国に働きかけることを強く要請する」と訴えました。また来賓として、長崎県中村法道知事、長崎市加藤邦彦副市長、国際労働組合総連合(ITUC)ヤープ・ヴィーネン書記次長からそれぞれご挨拶をいただきました。

引き続き、長崎平和推進協会継承部会の丸田和男さんより「被爆者の訴え」、連合広島代表团より「ピースメッセージ」、ナガサキ・ユース代表团と高校生平和大使よりそれぞれの立場での報告と決意表明がありました。最後に平和四行動の象徴であるピースフラッグを、連合長崎森会長より、連合北海道高倉副会長へリレーし、平和の思いを根室へ繋ぎました。

2. ピース・ウォーク

長崎地協役員のご案内のもと、原爆落下中心地公園・平和公園内の8箇所 monumento・碑巡りを行いました。各 monument では、連合長崎青年委員会・女性委員会メンバーによる「ピースガイド」が説明を行いました。

3. 万灯流し

原爆殉難者慰霊奉賛会、城山連合自治会など地域の団体と連携し、原爆犠牲者の冥福を祈り「万灯流し」を行う予定でしたが、残念ながら今年は天候不良の影響で中止となりました。平和への願いを届けるためにも、来年は、実施できることを願っています。(写真は、今年の万灯流しの様子)



平和の泉清掃(7月22日)



万灯作成(7月29日)





「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和」の実現を求めて

平和行動in広島 (8月4日～6日)

- 1) 参加者 連合長崎より15人
(うちキャラバン隊6人)
長崎地協 橋田和廣(交通労連)
- 2) 内 容
 - (1)被爆路面電車乗車学習会
 - (2)ピースウォーク
 - (3)連合2017平和ヒロシマ集会
 - (4)連合「原爆死没者慰霊式」
 - (5)「平和の鐘」打鐘式



「北方領土四島返還」と「日ロ平和条約」の締結をめざして

平和行動in根室 (9月8日～11日)

- 1) 参加者 連合長崎より17人
長崎地協 高比良大(全労金)
- 2) 内 容
 - (1)北方四島学習会
 - (2)連合2017平和ノサップ集会
 - (3)フィールドワーク

「平和行動in沖縄」については、地協ニュースNo75に掲載しています。

米 アジア・アフリカ支援米活動・稲刈り

連合長崎では、アジア・アフリカ支援米運動として、支援田での田植え・稲刈りとカンパ活動に取り組んできました。

連合長崎の実績としては、昨年度は支援米3,000kgをカンボジアに送り、これまでの支援米輸送は累計で

66,365kg(2017年12月現在)となっています。

本年は5月20日(土)に田植えを実施、そして10月9日(月・祝)に53人(うち子ども18人)の参加のもと稲刈りを実施しました。収穫したお米は、県内各地区で収穫した支援米とあわせ、1月15日に発送する予定です。



長崎地区労働者福祉協議会第25回総会

11月30日(木)18:30～九州労働金庫長崎支店(長崎市川口町)にて長崎地区労福協第25回総会を開催しました。主催者代表として酒井会長、来賓として県労福協の松尾事務局長の挨拶の後、報告事項として2016年度経過・決算報告、審議事項として2017年度活動方針、予算の提案、そして役員体制の確認を行い、全ての議案について満場一致で決定・確認されました。また、総会終了後に第1回ライフプランセミナーとして、労金・全労済より取り組みの紹介を行いました。



【2017年度役員体制】

会 長	酒井 隆 (連合長崎地協)
副 会 長	小宮 伸二 (長崎地区労)
”	松尾 憲一 (同盟友愛連絡会)
”	桜井 健一 (中連懇話会)
”	口石 昭弘 (九州労金)
”	金澤 宏和 (全労済)
事 務 局 長	宮本 晃好 (連合長崎地協)
事務局次長	加世田和志 (長崎地区労)
”	上野 栄夫 (同盟友愛連絡会)
”	川田 隆往 (中連懇話会)
会 計 監 査	飛家しのぶ (九州労金)
”	宮崎 浩介 (全労済)



第34回 県スポーツ大会 グラウンドゴルフ



長崎県労福協・長崎県の主催による長崎県労働者スポーツ大会(グラウンドゴルフ)にも積極的に参加しています。今年で第34回目を迎えるスポーツ大会が11月5日に県立総合運動公園野球広場(諫早市宇都町)で開催さ

れ、長崎地区労福協から10チームが参加しました。大会には県内各地より30チームが参加しました。今回は、残念ながら上位入賞はできませんでしたが、怪我もなくプレーを楽しむことができました。

